



文連委員長・神原は呼びかけます

**学生部によるサークル活動規制をさらに緩和させ、
「有観客公演」を実現しよう！
すべてのサークルはさらに団結を強化しよう！**



文連委員長・神原君

すべてのサークル員のみなさん！ 当局・学生部は10月1日、複数サークルでの合同練習を認めることをはじめとして、感染対策を理由としたサークル活動への規制を一部緩和しました。これは、これまでサークルどうしが協力してサークル活動規制の緩和を求め、要求書提出の取り組みを通じて切り拓いたものです。しかし学生部は集客を伴うサークルの企画については、依然としてオンライン配信のみに制限しています。これでは、秋冬学期に私たちが行なおうとしている文化・サークル活動に様々な支障が出かねません。文連常任委員会は9月15日、文連加盟サークルの意見を集約し、学生部に「有観客公演」を認めない理由を問う「公開質問状」を提出しました。この取り組みに続き、すべてのサークルは文連のもとに一致協力し、さらなるサークル活動の規制緩和と「有観客公演」の実現をかちとっていかうではありませんか！

秋冬学期、多くのサークルが春・夏を通じて積み重ねてきたサークル活動の集大成として公演や演奏会・発表会を予定しています。特にサークルがこうした企画を「有観客」で行なうには、日々の練習や稽古以外に予約の受付やパンフの発行などの準備に多くの時間が必要です（1、2ヶ月は必要です！）。しかし学生部が現在「有観客」での企画を認めず、今後の展望を明らかにしていないことで、サークルが企画に向けて予定を組み、進めることが困難になっています。学生部は各サークルの実情にふまえ、ただちに「有観客」でのサークル企画を認めるべきです。

みなさん、秋冬学期のサークル活動を成功させていくために、私たちはサークルの規模やジャンルの違い、また加盟・未加盟の違いを越えてさらに団結を強化し、声をあげていきましょう！ 私たちはサークルどうしの論議を積み重ね、春夏学期を通じて要求を学生部に対して行なうことで、感染が拡大し「緊急事態宣言」下でも学生会館の閉鎖を許さず、夏休み中のサークル活動を継続させてきました。この地平にふまえて、さらに粘り強くサークル活動への規制緩和、そして「有観客公演」の実現を目指して頑張りましょう！ 秋冬学期、私たちは早稲田サークル文化のさらなる発展をかちとろうではありませんか！！

**「有観客公演」を求めるみなさんの声を、
ぜひこちらまでお寄せください。** →

